

第 1 回 総合計画策定審議会 議事要旨

会議名：第 1 回総合計画策定審議会

日時：2024 年 11 月 25 日（月）14:00～15:00

場所：吉野町中央公民館 第 3 研修室

参加者：出席者名簿の通り（欠席者：吉野町民生児童委員協議会 木谷委員、吉野町連合 PTA 大北委員、吉野町青少年問題協議会 里田委員、吉野町スポーツ推進委員 東平委員、無作為抽出委員 榎谷委員の計 5 名）

資料：・資料 1 第 5 次吉野町総合計画後期基本計画 策定審議会 委員名簿
・資料 2 吉野町総合計画策定審議会傍聴要領
・資料 3 第 5 次吉野町総合計画後期基本計画 策定方針
・資料 4 令和 6 年度 吉野町住民アンケート結果報告書
・資料 5 令和 6 年度 吉野町中学生アンケート結果報告書
・資料 6 現総合計画及び現総合戦略の検証結果
・参考資料 1 第 5 次吉野町総合計画 前期基本計画冊子
・参考資料 2 第 5 次吉野町総合計画 前期基本計画概要版パンフレット
・参考資料 3 吉野町人口ビジョン（改訂版）・第 2 期 吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

【以下、協議内容】

1 開会

- 吉野町 政策戦略課坂本課長補佐より開会の挨拶を行った。

2 委嘱状交付

- 吉野町 和田副町長より委員への委嘱状の交付（会議の進行上、代表者 1 名に交付）を行った。

3 副町長挨拶

- 吉野町 和田副町長より挨拶を行った。

【和田副町長】

吉野町の総合計画は、基本構想が令和 3 年度から令和 12 年度までとなっており、前期基本計画が令和 3 年度から令和 7 年度、後期基本計画が令和 8 年度から令和 12 年度となっている。現在の総合計画のまちの将来像である「「ひと」がつながり「ひと」がかがやき「ひと」が潤う 感動生まれる吉野町」のもと、さまざまな施策に取り組んできた。

また、新型コロナウイルス感染症の流行により、生活リズムや考え方が大きく変化してきている。加え

て、過疎化・少子化・高齢化などの課題や DX 化・グローバル化などの社会情勢の変化も起きている。

今後、持続可能なまちづくりを目指すため、住民意見を反映させて、後期基本計画を計画策定することが重要と考えている。後期基本計画は、吉野町の施策を推進する上で、中核となる計画であるため、委員には忌憚のない意見をいただき、後期基本計画を策定したいと考えている。そのため、前期基本計画の検証や住民アンケート結果などをもとに、次につながる計画となるよう審議をお願いしたい。

4 委員紹介

- 「資料 1 第 5 次吉野町総合計画後期基本計画 策定審議会 委員名簿」に基づいて委員紹介を行い、ご挨拶をいただいた。

5 会長、副会長選出

- 会長、副会長の選出を行った（委員からの発言により事務局案を提示し、承認を得た）。

【中山会長】

現在の吉野町の総合計画の策定にも関与したが、当時は新型コロナウイルス感染症が流行している中であったが、無事に策定することができた。それ以降、現総合計画の取組が進んでいると思うが、進捗状況を検証しながら、みなさんと後期基本計画を策定できればと考えているため、ご協力をお願いしたい。

【北岡副会長】

吉野町は人口約 6,000 人であり、今後 10～15 年を見据えると、来年は戦後 80 年であり、団塊の世代が 80 歳を迎える年である。人口減少が進むことを前提に、吉野町をどのように維持・発展させるかを考えることが重要と考えている。

6 総合計画の策定について（諮問）

- 和田副町長より中山会長へ諮問書の交付を行った。

7 会議の公開、会議録の公表について

- 「資料 2 吉野町総合計画策定審議会傍聴要領」に基づいて、説明を行った。

8（1）第 5 次吉野町総合計画後期基本計画の策定方針

- 吉野町 政策戦略課阪本主任より「資料 3 第 5 次吉野町総合計画後期基本計画 策定方針」に基づいて説明を行った。

8（2）基礎調査の実施状況のご報告

- トーマツ 石堂・中野より「資料 4 令和 6 年度 吉野町住民アンケート結果報告書」「資料 5 令和

6 年度 吉野町中学生アンケート結果報告書」「資料 6 現総合計画及び現総合戦略の検証結果」に基づいて説明を行った。

【会長】

「資料 4 令和 6 年度 吉野町住民アンケート結果報告書」の p.9-10「各施策の満足度・重要度」について、満足度が低く、重要度が高いのは「No17 利便性の高い公共交通システムの構築」「No19 地域医療の充実」であり、住みやすい吉野町にするため、優先的に解決すべき課題と考えられる。

地域医療は p.13 に「かかりつけ医の有無」の設問があるが、かかりつけ医以外の満足度が低い可能性がある。また、公共交通は、住民からの要望が多い施策であるが、p.34 の「移動手段の確保」の結果から、若い世代が、交通手段がないと感じていることが読み取れる。先ほどの検証結果ではデマンドバスの運行の話があったが、移動手段が課題となっている年代などの属性が明確になると取組の検討につながると思う。

【副会長】

医療と交通は重要なキーワードと理解している。

医療の充実は、奈良県全体の医療行政に関わることである。吉野町では、開業医の高齢化が進み、廃業される方もいる。南奈良総合医療センターの開設により、健康チェックや簡単な手術が可能となったため、地域住民は助かっている。手術後の療養には吉野病院がある。

デマンドバスの運行は住民に大変好評である。現在は、住民の半数以上が自家用車を利用しているが、高齢化が進むにつれ、免許返納者が増加すると見込まれるため、デマンドバスを含めた交通手段の充実を検討する必要がある。

【会長】

「資料 4 令和 6 年度 吉野町住民アンケート結果報告書」の p.7-8「住み心地・定住意向」の結果について年齢別のクロス集計を追加してほしい。どのような属性の方が住みよい、住み続けたいと回答しているか把握できるとよいと考える。

また、「資料 6 現総合計画及び現総合戦略の検証結果」のうち、各委員の所属団体に関連する項目を確認していただき、第 2 回総合計画策定審議会で意見出しをお願いしたい。

8 (3) その他

- 連絡事項なし。

9 閉会

- 吉野町 政策戦略課小原 参事より閉会の挨拶を行った。

以上